

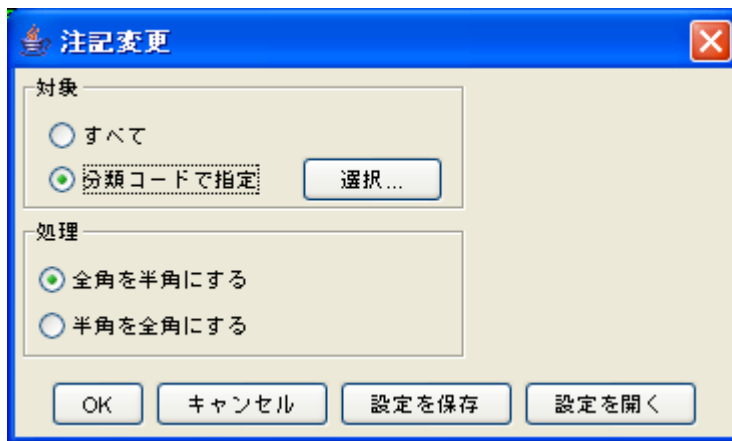
拡張 DM エディタ バージョン 2.36 更新記録

2010/01/27
有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>
info@geocoach.co.jp

1. 注記変更

メニュー[一括処理]-[注記変更]を追加しました。以下、説明書からの抜粋です。

注記の文字列について、文字列が数値あるいはアルファベットの場合、半角を全角あるいは全角を半角に変更します。



全角を半角にする

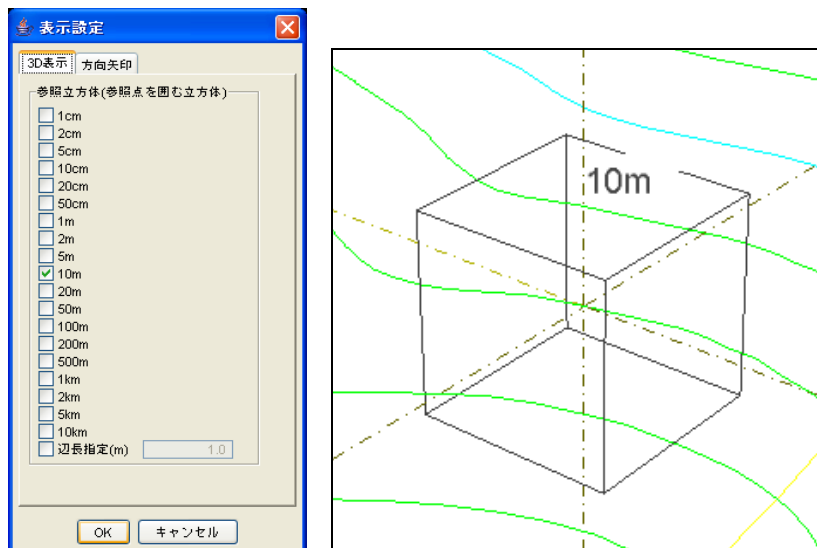
文字列中の全角文字を半角文字に変更します。文字列の中に数値やアルファベット以外で半角にならない文字があれば、すべての文字が半角にならないので変更しません。

半角を全角にする

文字列中の半角文字を全角文字に変更します。

2. 表示設定

メニュー[表示]-[表示設定]にタブ[3D表示]を追加しました。



【参照立方体(参照点を囲む立方体)】参照点を中心とする立方体を表示します。
ダイアログでは立方体の辺長を指定します。

3. 要素リストアップ

メニュー[ツール]-[要素リストアップ]で、「図形区分を表現補助データ(99)にする」を廃止し、「図形区分を変更する」として0から99の任意の図形区分に変更できるようにしました。また、「標高値を10倍にする」を追加しました。

要素リストアップ

データタイプ

- E1面
- E2線
- E3円
- E4円弧
- E5点
- E6方向
- E7注記
- E8属性

分類コード

- すべての分類コード
- 分類コードを選択(1)
- 分類コードを選択(2)
- 分類コードを選択(3)

2次元、3次元

- 2次元と3次元すべて
- 3次元
- 3次元で標高値が全て0.0
- 3次元で標高値が-999より高い
- 3次元で標高値が-999より高く0.0より低い
- 3次元で標高値が-999より高く、全て同じ
- 3次元で標高値が-999より高く、一部異なる
- 3次元で標高値が-999以下
- 2次元

図形区分

- すべての図形区分
- 非区分(0)
- 射影部の上端(11)
- 射影部の下端(12)
- 表現補助データ(99)
- 表現補助データ(99)以外
- 0,11,12,99以外
- 定義以外

間断区分

- すべての間断区分
- 間断区分=0
- 間断区分=1
- 間断区分=2~9

面(E1),線(E2)の点数

- 点数は問わない
- 2点
- 3点以上

面(E1),線(E2)の長さ・面積

- 長さは問わない
- 長さを指定(2D)
- 長さを指定(3D)
- 長さの最小値 m
- 長さの最大値 m
- 面積は問わない
- 面積を指定(2D)
- 面積 m²未満

その他の条件

- 注記の数値の小数点以下桁数が1
- 消去年月が空白か0以外
- 要素識別番号 =

処理

- リストアップ(順次)
- リストアップ(長い方から)
- 該当要素を削除する
- 分類コードを変更する
- 注記の線号を変更する
- 間断区分を0にする
- 間断区分を1にする
- 図形区分を変更する
- 面(E1)を線(E2)にする
- 点(E5)を方向(E6)にする
- 方向(E6)を点(E5)にする
- 円(E3)を点(E5)にする
- 点列の順序を反転する
- 標高値を10分の1にする
- 標高値を10倍にする

レポートパネル出力

OK キャンセル